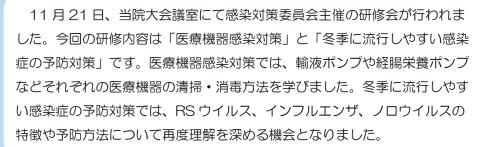


No.60

院内NEWS 平成28年12月6日発行



院内研修会を行いました





>> 環境における抵抗性

インフルエンザ

ステンレスなど	24 ~ 48 時間
布・絨毯など	8~12時間
エアゾール	数時間
水	2~3週間(4℃)
乾燥	短時間

主として環境表面からの接触感染や飛沫感染、くしゃみ、 咳等のしぶきを吸入することにより感染する。 ワクチンの未接種・新型等ではまれに空気感染もある。

ノロウイルス

ステンレスなど	1週間(室温)
布・絨毯など	2週間(室温)
エアゾール	1 週間
水	60 日以上 (4℃)
乾燥	50 日以上 (4℃)

ノロウイルスは長く環境に滞在している!

全ての感染症のうち国内では、結核・麻しん・ 水ぼうそうが主な空気感染する疾患である。 残りの感染症は、手で触れること・手から口に ついて食べ物から入るなどの接触感染と、くしゃ みやしぶきから感染する飛沫感染に分けられる。



手洗い・マスク装着・環境の清掃(除菌) を確実に行うことでほとんどの感染症 を防ぐことが可能



第23回症例検討会を行いました

10月31日当院大会議室にて第23回症例検討会を開催しました。中村先生を座長とし、野尻中央病院の中原利恵さんをはじめ、5演題の発表がありました。また、大勢の方々にお越しいただき、意見交換や質疑応答が行われ、大変充実した検討会となりました。



院内 83 名、院外 10 名 総数 93 名が参加しました

